事務事業及び予算の執行実績

（令和６年度分「一部、令和７年度分を含む」）

静岡県立観音山少年自然の家

目　　次

事務事業の概要 ---------- 1

事業の根拠法令調 ---------- 13

職員の年齢調 ---------- 14

健康管理 ---------- 14

歳入予算執行状況調 ---------- 15

預金調 ---------- 19

郵券等受払調 ---------- 20

歳入歳出外現金 ---------- 22

歳出予算執行状況調 ---------- 24

委託料等歳出予算執行状況節別集計表 ---------- 28

委託料に関する調 ---------- 30

負担金支出調 ---------- 38

公有財産調 ---------- 40

借地借家等調 ---------- 42

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調 ---------- 43

備品・図書調 ---------- 44

主要備品調 ---------- 48

事　務　事　業　の　概　要

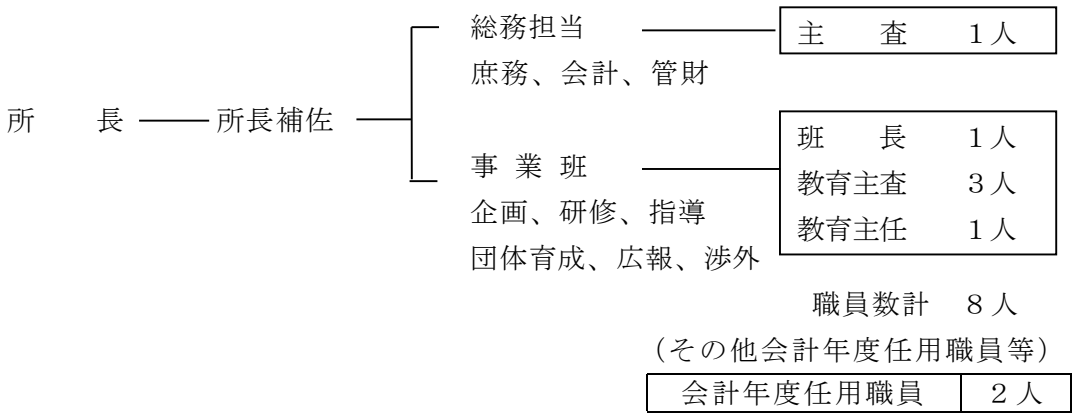
1　概　況

(1) 沿　革

観音山少年自然の家は、緑濃い観音山の大自然の中で少年が自然に親しみ、また、集団宿泊生活を通して、規律・協同・友愛・奉仕等の精神を体得させるための施設として開設された。

昭和 47 年　9月　1日　着工
昭和 48 年　3月 25 日　完成
昭和 48 年　6月 15 日　開所
昭和 49 年　3月 25 日　新水源地完成
昭和 49 年　3月 25 日　民俗資料館「かんの」完成
昭和 50 年　3月 25 日　倉庫完成
昭和 52 年　12 月　5日　屋外便所完成
昭和 53 年　2月 20 日　取り付け道路排水工事完成
昭和 53 年　6月 30 日　第二キャンプファイヤー場造成完成
昭和 55 年　3月 20 日　取付道路舗装工事完成
昭和 56 年　5月 15 日　多目的ホール完成
昭和 59 年　3月 20 日　汚水処理施設完成
昭和 61 年　1月 23 日　厨房改造工事完成
昭和 61 年　7月 25 日　屋外洗い場完成
昭和 61 年 12 月　23 日　受水槽上屋完成
平成　3年　2月 15 日　開所 20 周年記念誌「観音山の 20 年」刊行
平成 10 年　9月 16 日　リーダー室改修工事完成
平成 13 年　2月 28 日　新受水槽完成
平成 18 年　10 月　1日　耐震補強工事のため３月 31 日まで休所
平成 19 年　3月 15 日　耐震補強工事完成
平成 21 年　2月 20 日　民俗資料館屋根改修工事完成
平成 26 年　3月 20 日　オイルタンク設置工事完成

(2) 組織図



職員数計　８人

（その他会計年度任用職員等）

会計年度任用職員	２人

2　運営方針

少年期とは、限りない可能性を秘めた時期である。好奇心をもって様々なことに挑戦し、失敗や挫折を経験しながらも希望を失わず果敢に挑戦し続けることで、自己の可能性を自ら引き出し、大きく開花させることができる。

このような時期に自然体験活動を経験させることは、自然を理解し、自然や人に対する慈しみの心を養うばかりでなく、自主性や社会性、協調性を育み、こどもの成長過程における重要な位置付けと考えている。

また、自然体験活動を通して、「人間としての基礎・基本」を習得するとともに、試行錯誤を重ねて目的を達成した成就感や満足感は、さらなる主体的な取組や問題解決のための意欲や能力を育み、これは、「生きる力」の育成とも結びつくことである。

これらの視点に立ち、「少年自然の家のねらい」を達成するために、時代の変化に対応した魅力や特色に満ちた質の高い活動プログラムの企画・立案や安心・安全な施設の運営に努めている。

3　教育目標

観音山の豊かな自然の中での体験を通して、次のような少年の育成に努める。

(1) 自然の美しさ、優しさ、厳しさに感動し、自然に親しむ心や自然への畏敬の念をもったこどもを育てる。

(2) 自律性、協調性を身に付け、奉仕の心と思いやりの心をもったこどもを育てる。

(3) 自主性、創造性を身に付け、たくましい心と体をもったこどもを育てる。

4　計画(教育目標)の具現化

教育大綱の基本理念である「未来を拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育」の実践の場として、利用者の立場に立った「観音の心」で、「観音山は感動山、観音山に失敗はない」などのこどもたちへの教示の合言葉を用いて、親切丁寧でぶれない指導・支援を行う。

また、安心・安全を基盤として、重点目標や数値目標の達成に向けて取り組む。

＜令和６年度＞

(1) 利用団体（学校等）に対する指導の充実

ア　利用団体研修会の開催

入所予定の幼・保育園・小学校・中学校の教員を対象にした研修会を２回開催した。研修会では、自然体験の意義や活動プログラムの説明をしたり、野外活動を実際に体験してもらった。また、活動計画の立案や安全対策に関する支援を行った。

事業名	期　日	内　容	対象	参加人数
利用団体研修会	4月19日	活動プログラムの説明及び野外活動体験　等	本所を利用する学校等の教職員	55人
	8月26日			72

イ　事前打ち合わせの実施

利用日の一ヶ月前までに利用団体と事前打ち合わせを実施した。利用者の立場に立ち、具体的なアドバイスを行い、より安全に活動の目標を達成するための支援を行うことができた。

ウ　令和６年度の学校等の利用状況

区分	学校種別等	団体数	延べ利用人数
学校関係	幼・保育園	18園	1,466人

	小学校	85校	12,733
	中学校	8校	2,550
少年団体等	ボーイスカウト等	12団体	1,174

エ　利用者の満足度

利用者アンケートの結果、「満足」及び「ほぼ満足」は100%であった。

(2) 主催事業の充実

ア　小学生向けの宿泊イベント

観音山の特色を生かした創意ある企画を立案、実施することができた。小学生の発達段階に応じて実施した「冒険王国 in 観音山」「アドベンチャーキャンプ」「もりもりキャンプ」は、活動プログラムにストーリー性を持たせ、こどもたちが興味を持続できるよう工夫した。様々な自然活動の中で、こどもたちは仲間と協力し合い頑張り抜く姿が見られ、ひと回り逞しく成長することができた。なお、「冒険王国 in 観音山」については、南海トラフ地震臨時情報の発令を受け、メインキャンプ３日目に活動を中止した。

事業名	期　日	対象	内　容	参加人数
もりもりキャンプ	2月22～23日	小学校 1～3年生	森探検、夜探検、山探検	73人
	3月 1～ 2日			77
アドベンチャーキャンプ	11月23～24日	小学校 4～6年生	森林探検、夜間ハイキング	77
冒険王国 in 観音山	6月15～16日	小学校 5・6年生	探検活動、野外炊事　等	69
	8月 7～ 9日			71

イ　家族向けイベント

家族向けイベントの充実を図るため、昨年度は日帰りイベントだった「ファミリーデー」の一部を宿泊のイベントに見直し実施した。９月には、灯籠作りや飯ごう炊さん、12月には、クリスマスリースや門松作りを行った。家族で協力しながら創作活動を行うことで、家族の絆を深める貴重な時間を提供することができた。また、「子どもフェスティバル」や「わくわくホリデー」などのイベントでも利用者の拡大を目指した。

事業名	期　日	対象	内　容	参加人数
子どもフェスティバル	4月27日	親子及びその家族	ハイキング、ゲーム・ビンゴ大会	66人
	4月28日			70
ファミリーデー	9月14～15日	親子及びその家族	灯籠作り、キャンドル、飯ごう炊さん	37
	12月14～15日		クリスマスリース・門松作り等	29
	12月22日		門松作り	49
わくわくホリデー	10月20日	親子及びその家族	焼杉作り､ハイキング	31
	2月 9日		こけ玉作り､ハイキング	52
観音山ハイキング	4月14日	一般	山頂等ハイキング	40
	2月16日		ハイキング	9
ぷらっと観音	5月12日	一般	山頂等ハイキング	54
	9月 1日		台風10号接近により中止	－
	11月 3日		ハイキング	18
	1月25日		山頂等ハイキング	7

夜間ハイキング	7月14日	一般	ハイキング(夜景等)	22
	10月 5日		クマ目撃情報に伴い中止	―

ウ　参加者の満足度

参加者からのアンケートによると「満足」及び「ほぼ満足」との回答が多く寄せられ、満足度は98.8%であった。内容に関する貴重な意見は次年度の主催事業に反映させていく。

(3) 野外活動指導者の育成

青少年野外教育スタッフ養成事業として実施した「リーダースクールｉｎ観音山」には、延べ75人の大学生等が参加した。参加者は、活動を通して野外活動に関する知識・技能を習得したり、人との繋がりや関わりの意義を感じるなど、大きく成長することができた。

また、「アウトドア教室」には、26人の中・高校生が参加し、地域社会で活躍する野外活動リーダーとして必要な知識・技術を習得することができた。

事業名	期　日	対象	資格取得	内　容	参加人数
リーダースクールin 観音山	6月 1～ 2日	高校生 大学生 社会人	中級	「冒険王国in観音山」「アドベンチャーキャンプ」に参加 野外活動・安全管理等の講義・実技講習　等	26人
	6月15～16日				24
	8月 7～ 9日				25
アウトドア教室	1月11～12日	中学生 高校生	初級	安全対策、ハイキング　等 断水により２日目で中断	26
ボランティア やまびこ会研修会	4月27～28日	中学生 高校生 大学生		観音山のボランティアスタッフとしての技術の習得	12
	2月23日				24
	3月 2日				23

(4) 利用の促進

利用者数や利用者層の拡大を図るために積極的な広報活動やＨＰの充実に努めたが、９月に活動エリア内においてクマの目撃情報があったことから、入所のキャンセルが相次ぎ延べ利用者数は19,944人と前年度と比べ大幅に減少した。

区　分	取　組　内　容
広報活動	・報道機関へのイベント情報の提供 ・ＨＰによる主催事業等の詳細情報の迅速な提供 ・インスタグラムによる情報の発信
学校等訪問	市町教育委員会及び学校訪問等（イベントチラシの配布等）

(5) 施設・設備の安全対策

ア　案内表示や地点番号など活動に支障がないかエリアの点検整備をした。

イ　がけ崩れなど危険箇所の確認や倒木の確認処理、スズメバチの駆除を行い、安全で快適な施設の維持を図った。

ウ　安全点検を定期的に行い、危険箇所の早期発見と迅速な修理等により、利用者の安全・安心に努めた。

エ　除草作業を定期的に行い、マダニ等の害虫予防を図った。

(6) 災害への対策

ア　入所時にオリエンテーションを行い、危険予知能力や回避能力を育てた。

イ　万が一を想定した防災訓練や避難訓練を重ねて行うことにより、非常災害発生時において迅速な対応がとれるよう努めた。

ウ　利用者の事故防止のため、様々な情報を集めて的確に利用者へ伝えた。

(7) 施設内の衛生管理の徹底

定期的な安全対策マニュアルの見直しなど衛生管理体制を再確認し、再発防止に取り組んだ。

施設内の消毒、換気の徹底に取り組んだ。

不断の見直し・改善を行い衛生管理の徹底と施設利用者の安全・安心の確保に努めた。

ア　職員の安全衛生意識の向上

(ｱ)　嘔吐等発症者発生時対応マニュアルの整備

(ｲ)　職員に対する安全衛生講習会の実施

(ｳ)　嘔吐物処理キットの整備と処理手順の実技研修を継続実施

＜令和７年度＞

(1) 利用団体（学校等）に対する指導の充実

ア　利用団体研修会の開催

入所予定の幼・保育園・小学校・中学校の教員を対象にした研修会を２回開催した。研修会では、自然体験の意義や活動プログラムの説明をしたり、野外活動を実際に体験してもらった。また、活動計画の立案や安全対策に関する支援を行った。

事業名	期　日	内　容	対象	参加人数
利用団体研修会	4月22日	活動プログラムの説明及び野外活動体験　等	本所を利用する学校等の教職員	49人
	8月26日			62

イ　事前打ち合わせの実施

利用日の一ヶ月前までに利用団体と事前打ち合わせを実施した。利用者の立場に立ち、具体的なアドバイスを行い、より安全に活動の目標を達成するための支援を行うことができた。

ウ　令和７年度の学校等の利用状況

区分	学校種別等	団体数	延べ利用人数
学校関係	幼・保育園	19園	1,856人
	小学校	47校	6,537
	中学校	4校	1,230
少年団体等	スポーツクラブ等	10団体	864

エ　利用者の満足度

利用者アンケートの結果、「満足」及び「ほぼ満足」は100％であった。

(2) 主催事業の充実

ア　小学生向けの宿泊イベント

観音山の特色を生かした創意ある企画を立案、実施することができた。小学生の発達段階に応じて実施した「冒険王国 in 観音山」「アドベンチャーキャンプ」「もりもりキャンプ」は、活動プログラムにストーリー性を持たせ、こどもたちが興味を持続できるよう工夫した。様々な自然活動の中で、こどもたちは仲間と協力し合い頑張り抜く姿が見られ、ひと回り逞しく成長することができた。なお、「冒険王国 in 観音山」は、夏季の酷暑や参加者の体力を考慮し、２泊３日を中心とした３部制にて実施した。

事業名	期　日	対象	内　容	参加人数
もりもりキャンプ	2月28～3月 1日	小学校 1～3 年生	森探検、夜探検、山探検	130人

アドベンチャーキャンプ	2月 7～ 8日	小学校 4～6年生	森の冒険、夜の冒険、丘の冒険	55
冒険王国 in 観音山	7月 5～ 6日	小学校 5・6年生 中学校 1年生	探検活動、野外炊事　等	76
	8月 8～10日			76
	9月13～15日			71

イ　家族向けイベント

家族向けイベントの充実を図るため、「子どもフェスティバル」を３回増やして実施した。また、家族で宿泊するイベント「ファミリーデー」では、10月にオリジナルマスコット作りや飯ごう炊さん、12月にクリスマスリースや門松作りを行った。家族で協力しながら創作活動を行うことで、家族の絆を深める貴重な時間を提供することができた。

事業名	期　日	対象	内　容	参加人数
子どもフェスティバル	5月10日	親子及びその家族	ハイキング、ゲーム・ビンゴ大会	41人
	5月11日			67
	7月20日			138
	11月 2日			49
	1月24日			33
ファミリーデー	10月18～19日	親子及びその家族	ｵﾘｼﾞﾅﾙﾏｽｺｯﾄ作り、飯ごう炊さん等	31
	12月13～14日		クリスマスリース・門松作り等	30
わくわくホリデー	10月 5日	親子及びその家族	草木染め、ハイキング	43
	12月21日		門松作り、ハイキング	35
	2月15日		キャンドルホルダー作り、ハイキング	23
観音山ハイキング	4月13日	一般	ハイキング	15
	1月31日			9
	3月14日			43
ぷらっと観音	4月27日	一般	山頂等ハイキング	70
	8月31日		沢登り・沢遊び	58

ウ　参加者の満足度

参加者からのアンケートによると「満足」及び「ほぼ満足」との回答が多く寄せられ、満足度は99.8%であった。内容に関する貴重な意見は次年度の主催事業に反映させていく。

(3) 野外活動指導者の育成

青少年野外教育スタッフ養成事業として実施した「リーダースクールｉｎ観音山」には、延べ113 人の大学生等が参加した。参加者は、活動を通して野外活動に関する知識・技能を習得したり、人との繋がりや関わりの意義を感じるなど、大きく成長することができた。

また、「アウトドア教室」には、31 人の中・高校生が参加し、地域社会で活躍する野外活動リーダーとして必要な知識・技術を習得することができた。

事業名	期　日	対象	資格取得	内　容	参加人数
リーダースクール in 観音山	6月 7～ 8日	高校生 大学生	中級	「冒険王国 in 観音山」「アドベンチャーキャンプ」に参加 野外活動・安全管理等の講義・実技講習　等	31人
	7月 5～ 6日				28
	8月 8～10日				28
	9月13～15日				26
アウトドア教室	1月10～12日	中学生 高校生	初級	安全対策、ハイキング　等	31

ボランティア やまびこ会研修会	5月10～11日	中学生 高校生		観音山のボランティアスタッフとしての技術の習得	12
	3月 1日	大学生 社会人			41

(4) 利用の促進

利用者数や利用者層の拡大を図るために積極的な広報活動やＨＰの充実に努めたが、11月に本所入口付近の県道沿いで所員がクマを目撃した。その後、入所のキャンセルが相次ぎ延べ利用者数は13,290人と前年度と比べ66.6%に大幅に減少した。

区　分	取　組　内　容
広報活動	・報道機関へのイベント情報の提供 ・ＨＰによる主催事業等の詳細情報の迅速な提供 ・インスタグラムによる情報の発信
学校等訪問	市町教育委員会及び学校訪問等（イベントチラシの配布等）

(5) 施設・設備の安全対策

ア　案内表示や地点番号など活動に支障がないかエリアの点検整備をした。

イ　がけ崩れなど危険箇所の確認や倒木の確認処理、スズメバチの駆除を行い、安全で快適な施設の維持を図った。

ウ　安全点検を定期的に行い、危険箇所の早期発見と迅速な修理等により、利用者の安全・安心に努めた。

エ　除草作業を定期的に行い、マダニ等の害虫予防を図った。

オ　クマの出没を受け、利用者の安全のため、定点カメラを複数台設置するとともに、クマ避けブザー・クマ撃退スプレーの貸出し、無線の携帯や所員の同行、夜間の活動を室内や所の周辺に制限するなど活動プログラムについて見直しを行った。

(6) 災害への対策

ア　入所時にオリエンテーションを行い、危険予知能力や回避能力を育てた。

イ　万が一を想定した防災訓練や避難訓練を重ねて行うことにより、非常災害発生時において迅速な対応がとれるよう努めた。

ウ　利用者の事故防止のため、様々な情報を集めて的確に利用者へ伝えた。

(7) 施設内の衛生管理の徹底

定期的な安全対策マニュアルの見直しなど衛生管理体制を再確認し、再発防止に取り組んだ。

施設内の消毒、換気の徹底に取り組んだ。

不断の見直し・改善を行い衛生管理の徹底と施設利用者の安全・安心の確保に努めた。

ア　職員の安全衛生意識の向上

(ｱ)　嘔吐等発症者発生時対応マニュアルの整備

(ｲ)　職員に対する安全衛生講習会の実施

(ｳ)　嘔吐物処理キットの整備と処理手順の実技研修を継続実施

5　実績（成果）

近年の急激な少子化等に伴い、県立青少年教育施設利用者の大幅な減少が見込まれる中、静岡県教育委員会は、こどもたちに有用な自然体験活動の提供を今後も維持していくため、令和７年３月に、将来的に本所を廃止し、残りの県立３施設の充実を図ることで、持続可能な体制に移行し、県立青少年教育施設を運営していく方針を打ち出した。本所の廃止に向け教育委員会内に「青少年教育施設新体制準備委員会」が設置され、本所での活動で得られる教育的効果に相当する活動プログラム等について検討が進められてきた。一方で、本年度は、全国各地でクマの被害が相次ぐ中、本

所においても 11 月に付近の県道でクマが出没したことを受け、その後の利用団体のキャンセルが相次ぎ、利用者数が大幅に減少した。このような状況ではあったが、利用した学校のアンケート結果から、こどもたちの困難克服及び集団協力を目的とした学校の教育活動のねらいに大きく寄与し、一人ひとりの成長を促す活動意義は、非常に高いものとなっている。

(1) 年度別・月別利用者数

月 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
27 年度	2,555	5,271	5,090	6,213	1,911	3,168	5,824	3,947	3,284	2,578	1,200	1,193	42,234
28 年度	2,901	3,837	5,487	6,728	2,014	4,244	4,620	4,033	3,379	2,191	993	935	41,362
29 年度	2,742	2,611	4,674	6,162	1,654	3,801	4,718	4,213	1,768	937	1,112	867	35,259
30 年度	1,942	3,411	4,472	5,435	2,388	2,969	4,399	5,201	2,306	1,846	1,099	538	36,006
元年度	2,026	2,833	4,101	4,665	1,943	3,254	3,519	4,547	2,511	2,347	1,009	80	32,835
２年度	0	0	32	659	1,056	2,126	2,973	2,651	2,907	2,677	1,353	174	16,608
３年度	335	1,120	2,762	1,884	0	58	1,776	3,344	2,300	1,154	92	0	14,825
４年度	472	2,377	3,258	2,374	699	1,760	2,238	3,025	2,713	1,849	796	190	21,751
５年度	369	2,219	3,420	1,919	1,489	2,170	1,896	3,341	2,294	2,471	772	331	22,691
６年度	623	2,651	2,590	2,381	714	856	1,520	2,594	1,417	2,141	2,003	454	19,944
7 年度	134	2,102	2,321	2,052	1,369	726	1,826	1,460	91	150	307	752	13,290
計	14,099	28,432	38,207	40,472	15,237	25,132	35,309	38,356	24,970	20,341	10,736	5,514	296,805
割合	4.7	9.6	12.9	13.6	5.1	8.5	11.9	12.9	8.4	6.9	3.6	1.9	100

(2) 対象者別利用者数

区分	令和６年度						令和７年度					
	団体数		延人数		実人数		団体数		延人数		実人数	
	数	割合	人数	割合	人数	割合	数	割合	人数	割合	人数	割合
中学生	8	5.3	2,550	12.8	1,152	11.8	4	3.5	1,230	9.3	617	8.7
小学生	85	55.9	12,733	63.8	5,616	57.8	47	40.9	6,537	49.2	3,114	44.1
勤労青年												
大学生												
高校生	1	0.7	34	0.2	17	0.2	2	1.7	233	1.7	73	1.0
少年団体	12	7.9	1,174	5.9	615	6.3	10	8.7	864	6.5	441	6.3
幼稚園	18	11.8	1,466	7.4	1,087	11.2	19	16.5	1,856	14.0	1,256	17.8
青少年指導者	6	3.9	258	1.3	140	1.4	4	3.5	399	3.0	155	2.2
成人	1	0.7	7	0.0	7	0.1						
その他	21	13.8	1,722	8.6	1,087	11.2	29	25.2	2,171	16.3	1,406	19.9
計	152	100	19,944	100	9,721	100	115	100	13,290	100	7,062	100

(3) 宿泊日数別、対象者別利用者数

＜令和６年度＞

区分	日帰り		1泊2日		2泊3日		3泊4日		4泊5日		5泊6日		6泊7日		計	
	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数
中学生	1	38	5	1,702	2	810									8	2,550
小学生	7	586	50	6,600	28	5,547									85	12,733
勤労青年																
大学生																
高校生			1	34											1	34
少年団体	2	104	9	982			1	88							12	1,174
幼稚園	11	714	7	752											18	1,466
青少年指導者	2	47	3	136	1	75									6	258
成人	1	7													1	7
その他	13	548	7	892	1	282									21	1,722
計	37	2,044	82	11,098	32	6,714	1	88							152	19,944

＜令和７年度＞

区分	日帰り		1泊2日		2泊3日		3泊4日		4泊5日		5泊6日		6泊7日		計	
	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数
中学生		16	4	1,214											4	1,230
小学生	5	375	34	4,506	8	1,656									47	6,537
勤労青年																
大学生																
高校生			1	58		3	1	172							2	233
少年団体	1	53	7	724	2	87									10	864
幼稚園	8	664	11	1,192											19	1,856
青少年指導者		3	2	132	2	264									4	399
成人																
その他	20	832	6	808	3	531									29	2,171
計	34	1,943	65	8,634	15	2,541	1	172							115	13,290

6　評　価・改　善

利用者からの意見を取り入れ、毎年度末には本所の運営、主催事業や利用者支援などソフト面及び施設設備などのハード面について、所員が利用者の立場に立って、様々な観点から評価を行った。

反省点や改善点を基に翌年度の本所運営に、可能なものから反映させ利用者へのサービス向上を図った。

＜令和６年度＞

課　　題	対　策　（改　善）
安全管理の徹底	・安全対策マニュアルの検証・改訂 ・活動エリアの点検を定期・随時・緊急の点検を実施 ・嘔吐物処理研修 ・避難訓練 ・沢、山における救助訓練 ・クマ出没に伴う活動内容の見直し ・感染症対策の実施 宿泊室の定員 25 名 風呂の定員を 20 名 こまめな換気、消毒　等
指導の充実	・四季折々の自然や利用団体のニーズに合った指導や支援 ・実践の中での経験値の伝承 ・事前打合せでの利用団体(学校等)への適切な指導・助言
閑散期の利用拡大と施設稼働率の向上	・主催事業の充実 ・ＨＰの迅速アップを図り、新規利用者とリピーターを拡大 ・県民だよりでの宣伝を拡大 ・ＳＤＯを活用した広報の拡大

＜令和７年度＞

課　　題	対　策　（改　善）
安全管理の徹底	・安全対策マニュアルの検証・改訂 ・活動エリアの点検を定期・随時・緊急の点検を実施 ・嘔吐物処理研修 ・避難訓練 ・沢、山における救助訓練 ・クマ出没に伴う活動内容の見直し、安全対策の徹底 ・感染症対策の実施 宿泊室の定員 25 名 風呂の定員を 20 名 こまめな換気、消毒　等
指導の充実	・四季折々の自然や利用団体のニーズに合った指導や支援 ・実践の中での経験値の伝承 ・事前打合せでの利用団体(学校等)への適切な指導・助言
閑散期の利用拡大と施設稼働率の向上	・主催事業の充実 ・ＨＰの迅速アップを図り、新規利用者とリピーターを拡大 ・県民だよりでの宣伝を拡大 ・ＳＤＯを活用した広報の拡大
利用者層の拡大	・主催事業など広報活動の推進（ＨＰの充実など） ・学校、利用団体、関係機関へのイベントチラシの配布 ・利用が見込まれる主催事業（子どもフェスティバルなど）の回数の増加 ・インスタグラムによる情報の発信 ・ふじのくに電子申請システムを活用した申込みの簡略化

7　職員について

(1) 異　動　　（令和７年度末）

区分＼職名	所 長	所 長 補 佐	主 査	班 長	教 育 主 幹	教 育 主 査	教 育 主 任	計
転 出 者		１人		１人	１人	１人		４人
転 入 者		１人		１人		１人	１人	４人
差引増減		０人		０人	▲１人	０人	１人	０人

(2) 現員数　　（令和８年４月１日現在）

性別	所 長	所 長 補 佐	主 査	班 長	教 育 主 幹	教 育 主 査	教 育 主 任	計
男	１人	１人	１人	１人		３人	１人	８人
女								０人
計	１人	１人	１人	１人		３人	１人	８人

(3) 健　康

健康管理については、定期健康診断受診を促し、疾病の早期発見と健康意識の向上に努めた。

なお、本所は野外活動を中心とした業務や宿直もあり、日ごろから所員の健康管理には細心の注意を払っている。

(4) 職員研修

社会教育施設職員としての専門性と指導力を向上させるため､職員研修計画のとおり推進した。

ア　事業班会を毎月１回以上開催し、様々な活動における問題点を提起し、その解決と共通理解に努めた｡また、職員が相互に講師となり、活動プログラムの指導技術の向上を図った。

イ　主催事業での散策ルート等の下見を実施し、事前に把握することで安全対策等指導技術の向上を図った。

ウ　感染症予防に関し、嘔吐処理訓練を行い、危機管理意識の向上を図った。

エ　野外活動での事故を想定して救助訓練を実地し、救助・救命の知識・技能の向上を図った。

8　防災対策について

業務の特殊性に鑑み、平素の火災予防及び発災時における施設利用者の安全確保に重点を置いた防災対策を講じている。消防計画書に基づき防災訓練等を行い、職員の防災意識を高めている。

なお、地震対策についても、日頃の準備行動も盛り込んだマニュアルを整備し、利用者の安全確保に努めている。

さらに、備蓄食料は、宿泊定員 200 人の３日分を整備し、適切な管理の元で不足の事態に備えている。

＜令和６年度＞

防災（救助）訓練及び安全管理の一環とした訓練を実施し、所員の危機管理意識の高揚に努めた。

実施日	防災訓練	消防訓練	救助（防犯）訓練
４月１日		消防設備点検、使用方法及び避難経路の確認	
４月12日		夜間宿直時を想定した火災避難訓練	嘔吐物処理訓練
４月18日			応急処置訓練・救助(バックボード)訓練

４月25日	・地震関連情報等一斉配信システム確認訓練 ・参集状況確認訓練		
５月22日			救助訓練（沢活動時）
６月１日		大学生のリーダー研修会で予告なしの避難訓練	
８月22日	・静岡県総合防災訓練 ・被害状況想定訓練		
１月17日	・被害状況想定訓練		

＜令和７年度＞

防災（救助）訓練及び安全管理の一環とした訓練を実施し、所員の危機管理意識の高揚に努めた。

実施日	防災訓練	消防訓練	救助（防犯）訓練
４月１日		消防設備点検、使用方法及び避難経路の確認	
４月10日		夜間宿直時を想定した火災避難訓練	嘔吐物処理訓練
４月18日			応急処置訓練・救助(バックボード)訓練
４月21日			救助訓練（沢活動時）
４月22日	・地震関連情報等一斉配信システム確認訓練 ・参集状況確認訓練		
６月７日		大学生のリーダー研修会での避難訓練	
８月27日	・静岡県総合防災訓練 ・被害状況想定訓練		
９月３日		消火栓を活用した消火訓練	
１月16日	・被害状況想定訓練		

利用者に対し、火災や地震発生時における避難の心得、非常口の位置、避難経路、避難先等について説明及び確認を行うとともに、夜間の防災対策にも協力を呼びかけている。

事 業 の 根 拠 法 令 調

事　業　名	根　拠　法　令
静岡県立観音山少年自然の家設置事業	社会教育法（第６条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 30 条）（第 31 条第２項） 静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する条例 静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則 静岡県立観音山少年自然の家管理運営及び利用に関する規程 静岡県立観音山少年自然の家利用要項

職　員　の　年　齢　調

（令和８年４月１日現在）

年　　齢	人　員	摘　　要
20 歳未満	０人	
20 歳以上 30 歳未満	０人	
30 歳以上 40 歳未満	２人	
40 歳以上 50 歳未満	４人	
50 歳以上 56 歳未満	１人	
56 歳以上 61 歳未満	１人	
61 歳以上	０人	
計	８人	平均年齢　44.7 歳

健　康　管　理

1　令和７年度受診状況

区　　分	内　　容
受 診 状 況	受診者数　　８人 職 員 数　　８人
受　診　率	100％
県平均受診率	100％

（１）未受診の理由

2　令和８年度在籍者の健康管理区分結果

健　康　管　理　区　分			人　数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		（0）０人
B１	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要　治　療	（0）０人
B２		要経過観察	（0）０人
C１	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要　治　療	（0）０人
C２		要経過観察	（0）０人
D１	平常の勤務でよい。	要　治　療	（2）２人
D２		要経過観察	（2）２人
D３		医療不要	（4）４人
区　分　者　計			（8）８人
未 区 分 者 数			（0）０人
合　　計			（8）８人

（１）管理区分 A～C２該当者に対する措置状況

（２）未区分の理由

ア　産休・育休　　人

イ　新規採用　　人

ウ　自己都合による未受診　　人

エ　その他

（　　）人

歳　入　予　算

一般会計

区　　分	調　定　額 A	収　入　済　額	
		納　期　内 B	納　期　後 C
	円	円	円
款　08使用料及び手数料	2,265,910	2,219,930	45,980
項　01使用料	2,265,910	2,219,930	45,980
目　09教育使用料	2,265,910	2,219,930	45,980
07青少年の家使用料	2,265,910	2,219,930	45,980
款　14諸収入	25,440,114	25,097,694	342,420
項　07雑入	25,440,114	25,097,694	342,420
目　02雑入	25,440,114	25,097,694	342,420
87保険料負担金	270,073	270,073	0
90雑収	25,170,041	24,827,621	342,420
計	27,706,024	27,317,624	388,400

執　行　状　況　調

（令和 6年度 ）
（令和 7年 5月31日現在）

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 B+C / A-D-F	納期内収入率 B / A-D-F
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	97.9
0	0	0	0	100.0	97.9
0	0	0	0	100.0	97.9
0	0	0	0	100.0	97.9
0	0	0	0	100.0	98.6
0	0	0	0	100.0	98.6
0	0	0	0	100.0	98.6
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.6
0	0	0	0	100.0	98.5

ZIB0090
ZIRB0090

歳　入　予　算

一般会計

区　　分	調　定　額 A	収　入　済　額	
		納　期　内 B	納　期　後 C
	円	円	円
款　08使用料及び手数料	1,464,855	1,403,995	31,260
項　01使用料	1,464,855	1,403,995	31,260
目　10教育使用料	1,464,855	1,403,995	31,260
07青少年の家使用料	1,464,855	1,403,995	31,260
款　14諸収入	16,558,599	16,164,619	244,250
項　07雑入	16,558,599	16,164,619	244,250
目　02雑入	16,558,599	16,164,619	244,250
90保険料負担金	304,096	304,096	0
93雑収	16,254,503	15,860,523	244,250
計	18,023,454	17,568,614	275,510

執　行　状　況　調

（令和 7年度 ）
（令和 8年 3月31日現在）

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 B+C / A-D-F	納期内収入率 B / A-D-F
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	29,600	29,600	100.0	97.8
0	0	29,600	29,600	100.0	97.8
0	0	29,600	29,600	100.0	97.8
0	0	29,600	29,600	100.0	97.8
0	0	149,730	149,730	100.0	98.5
0	0	149,730	149,730	100.0	98.5
0	0	149,730	149,730	100.0	98.5
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	149,730	149,730	100.0	98.4
0	0	179,330	179,330	100.0	98.4

ZIB0090
ZIRB0090

預　　金　　調

（令和８年３月 31 日現在）

金融機関名	預金種類	口座番号	口　座　名　義　人	残高（円）	摘 要
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0060482	静岡県立観音山少年自然の家 資金前渡者　所長　大橋　英之	0	給与入金等 資金前渡口座
静岡銀行 細江支店	無利息型 普通預金	0243523	（自振口）静岡県立観音山少年自然の家 資金前渡者　所長　大橋　英之	0	電気料金・ 電話料金用
			残　　高　　合　　計	0	

郵　券　等

区　分	種　類	令和６年度					
		繰　越		受　入		払　出	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
郵　券	10 円券	46	460	200	2,000	129	1,290
	16 円券			70	1,120	8	128
	84 円券	35	2,940	100	8,400	135	11,340
	94 円券	74	6,956	50	4,700	61	5,734
	100 円券	53	5,300	100	10,000	59	5,900
	110 円券			100	11,000	4	440
	120 円券	107	12,840	0	0	73	8,760
	140 円券	36	5,040	150	21,000	147	20,580
	レターパックライト (430 円券)						
	レターパックプラス (600 円券)						
計			33,536		58,220		54,172

受　払　調

（令和８年３月31日現在）
（単位：枚、円）

令和７年度								摘　要
繰　越		受　入		払　出		差引現在高		
枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
117	1,170	100	1,000	130	1,300	87	870	連絡郵送用
62	992	1	16	63	1,008	0	0	連絡郵送用
								連絡郵送用
63	5,922	0	0	63	5,922	0	0	連絡郵送用
94	9,400	50	5,000	71	7,100	73	7,300	連絡郵送用
96	10,560	50	5,500	52	5,720	94	10,340	連絡郵送用
34	4,080	50	6,000	8	960	76	9,120	連絡郵送用
39	5,460	100	14,000	67	9,380	72	10,080	連絡郵送用
		15	6,450	15	6,450	0	0	連絡郵送用
		5	3,000	5	3,000	0	0	連絡郵送用
	37,584		40,966		40,840		37,710	

歳 入 歳 出 外 現 金 調

教育部　観音山自然の家

（令和 6年度）
（令和 7年 3月31日現在）

区　分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 140,467	円 140,467	円 0	
所得税	1,644	54,030	25,550	30,124	
計	1,644	194,497	166,017	30,124	

ZIB0070
ZIRB0070

歳 入 歳 出 外 現 金 調

教育部　観音山自然の家

(令和 7年度)
(令和 8年 3月31日現在)

区　分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 149,935	円 149,935	円 0	
所得税	30,124	76,001	103,949	2,176	
計	30,124	225,936	253,884	2,176	

ZIB0070
ZIRB0070

歳 出 予 算 執 行 状 況 調

（令和 6年度）
一般会計　　（令和 7年 5月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
款　02知事直轄組織費	178,000	178,000	0	
項　01知事直轄組織費	178,000	178,000	0	
目　08デジタル戦略費	178,000	178,000	0	
10需用費	178,000	178,000	0	
01その他の需用費	178,000	178,000	0	
款　11教育費	55,259,006	55,259,006	0	
項　02教育委員会費	2,413,517	2,413,517	0	
目　02教育総務費	508,417	508,417	0	
01報酬	294,000	294,000	0	
03非常勤職員報酬	294,000	294,000	0	
03職員手当等	191,279	191,279	0	
01その他の職員手当等	191,279	191,279	0	
04共済費	23,138	23,138	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	23,138	23,138	0	
目　03教育管理費	1,905,100	1,905,100	0	
10需用費	927,000	927,000	0	
01その他の需用費	927,000	927,000	0	
12委託料	314,600	314,600	0	
13使用料及び賃借料	663,500	663,500	0	
18負担金、補助及び交付金	0	0	0	
項　09社会教育費	52,845,489	52,845,489	0	
目　03青少年対策費	215,000	215,000	0	
13使用料及び賃借料	215,000	215,000	0	
目　04青少年の家費	52,630,489	52,630,489	0	
01報酬	3,028,468	3,028,468	0	
03非常勤職員報酬	3,028,468	3,028,468	0	
03職員手当等	1,144,432	1,144,432	0	
01その他の職員手当等	1,144,432	1,144,432	0	

ZIB0030
ZIRB0030

教育部　観音山自然の家

（令和 6年度）
一般会計　（令和 7年 5月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　　要
	円	円	円	
04 共済費	545,929	545,929	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	545,929	545,929	0	
07 報償費	350,000	350,000	0	
01 その他の報償費	350,000	350,000	0	
08 旅費	356,107	356,107	0	
01 その他の旅費	172,970	172,970	0	
02 普通旅費	183,137	183,137	0	
10 需用費	5,324,344	5,324,344	0	
01 その他の需用費	5,324,344	5,324,344	0	
11 役務費	1,221,278	1,221,278	0	
12 委託料	36,091,250	36,091,250	0	
13 使用料及び賃借料	4,306,965	4,306,965	0	
17 備品購入費	199,100	199,100	0	
18 負担金、補助及び交付金	31,560	31,560	0	
26 公課費	31,056	31,056	0	
計	55,437,006	55,437,006	0	

教育部　観音山自然の家

ZIB0030
ZIRB0030

2

歳 出 予 算 執 行 状 況 調

（令和 7年度）
（令和 8年 3月31日現在）

一般会計

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　要
	円	円	円	
款　12教育費	48,718,151	42,440,782	6,277,369	
項　02教育委員会費	2,120,151	1,881,112	239,039	
目　02教育総務費	227,992	227,992	0	
01報酬	136,910	136,910	0	
03非常勤職員報酬	136,910	136,910	0	
03職員手当等	91,082	91,082	0	
01その他の職員手当等	91,082	91,082	0	
目　03教育管理費	1,892,159	1,653,120	239,039	
08旅費	57,359	49,320	8,039	
02普通旅費	57,359	49,320	8,039	
10需用費	757,700	526,700	231,000	
01その他の需用費	757,700	526,700	231,000	
12委託料	413,600	413,600	0	
13使用料及び賃借料	663,500	663,500	0	
項　09社会教育費	46,598,000	40,559,670	6,038,330	
目　03青少年対策費	215,000	215,000	0	
13使用料及び賃借料	215,000	215,000	0	
目　04青少年の家費	46,383,000	40,344,670	6,038,330	
01報酬	3,434,000	3,293,103	140,897	
03非常勤職員報酬	3,434,000	3,293,103	140,897	
03職員手当等	1,335,000	1,333,922	1,078	
01その他の職員手当等	1,335,000	1,333,922	1,078	
04共済費	677,000	650,052	26,948	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	677,000	650,052	26,948	
07報償費	310,000	282,000	28,000	
01その他の報償費	310,000	282,000	28,000	
08旅費	319,000	283,780	35,220	
01その他の旅費	179,000	167,694	11,306	

ZIB0030
ZIRB0030

教育部　観音山自然の家

1

（令和 7年度）
一般会計　　（令和 8年 3月31日現在）

区　　分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘　　要
	円	円	円	
02普通旅費	140,000	116,086	23,914	
10需用費	4,089,000	3,294,138	794,862	
01その他の需用費	4,089,000	3,294,138	794,862	
11役務費	1,100,000	495,920	604,080	
12委託料	30,279,000	26,390,748	3,888,252	
13使用料及び賃借料	4,739,000	4,235,107	503,893	
18負担金、補助及び交付金	32,000	30,960	1,040	
26公課費	69,000	54,940	14,060	
計	48,718,151	42,440,782	6,277,369	

教育部　観音山自然の家

ZIB0030
ZIRB0030

2

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節　　名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					令和５年度	令和６年度	左のうち、５年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		314,600	
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		36,091,250	
計					32,537,295	36,405,850	0
(14) 工事請負費						0	
計					0	0	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		199,100	
計					0	199,100	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		31,560	
計					66,910	31,560	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

（令和８年３月31日現在）

節　　名	会計	款	項	目	執　行　済　額　（円）	
						うち、６年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	413,600	0
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	26,390,748	0
計					26,804,348	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費					0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	30,960	0
計					30,960	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	0
計					0	0

委　　託　　料　　に

整理番号	委託業務名	受 託 者	当　初設計金額	契約金額			契　約締結方法
				当初額	変　更増減額	計	
	（事務関係）		円	円	円	円	
1	警備業務委託	綜合警備保障株式会社静岡支社	217,800	217,800	0	217,800	随契
2	庁舎清掃業務委託	東海ビル管理株式会社	5,593,500	5,593,500	0	5,593,500	一般
3	自家用電気工作物保安管理業務委託	有限会社森下電気管理事務所	184,800	184,800	0	184,800	随契
4	消防用設備等保守点検業務委託	東海消防技研株式会社	882,750	660,000	0	660,000	随契
5	浄化槽保守点検業務委託	東名興産株式会社	493,020	493,020	0	493,020	随契
6	防鼠防虫業務委託	株式会社マルマ	165,000	165,000	0	165,000	随契
7	水質検査業務委託	一般財団法人静岡県生活科学検査センター	675,840	639,870	0	639,870	随契

関　　す　　る　　調

（令和６年度）

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
6. 4. 1 ～9. 3.31	7. 4.30	円 72,600	所長室・事務室の夜間機械警備 Ａ：総延床面積 119㎡	R6長期 随契2号 （不適）
6. 4. 1 ～7. 3.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.28 7. 3.31 7. 4.25 小計	420,000 420,000 420,000 420,000 420,000 888,500 420,000 505,000 420,000 420,000 420,000 420,000 5,593,500	庁舎の日常清掃及び定期清掃 Ａ：日常清掃(毎日)　1,816.3㎡ 日常清掃(週1回)　527.9㎡ 定期清掃(ｶﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ：年1回)　351.5㎡ 定期清掃(床面洗浄ﾜｯｸｽ:年1回)　1,810.1㎡ ゴミ処理(月1回) 雨樋清掃(年2回)	
6. 4. 1 ～7. 3.31	7. 4.25	184,800	電気工作物の保守点検 Ｎ：需要設備容量 125ｋVA　受電電圧 6,400V 非常用予備発電装置 20ｋVA	随契1号 （少額）
6. 4. 1 ～7. 3.31	6.10.31 7. 4.25 小計	404,800 255,200 660,000	消防設備の機能点検及び総合保守点検 Ｎ：自動火災報知設備、消火栓設備、消火器、非常放送設備、誘導灯設備、自家発電設備、防火戸シャッター連動装置、火災通報装置　1式 消防設備点検 点検回数：機器点検 年1回 総合点検 年1回 防火設備点検 点検回数：年1回	随契1号 （少額）
6. 4. 1 ～7. 3.31	6.10.31 7. 4.25 小計	246,510 246,510 493,020	浄化槽維持管理及び放流水の水質検査 Ｎ：処理方式：合併処理槽 接触ばっ気(流量調整有) 容　　量：242人槽 1基 35t/日 点検回数：2週間に1回 年26回実施	随契1号 （少額）
6. 4.15 ～7. 3.31	7. 4.25	165,000	鼠・衛生害虫駆除 Ｎ：鼠・害虫駆除 業務回数：巡回点検・生息調査 年12回 害虫駆除(薬剤散布等) 年2回	随契1号 （少額）
6. 4.19 ～7. 3.31	6.10.31 7. 4.14 小計	131,340 508,530 639,870	飲料水等の水質検査 Ｎ：一般飲料水水質検査(11項目) 11件 一般飲料水水質検査(51項目) 1件 原水全項目水質検査(39項目) 1件 「食品の製造等に用いられる水の基準」に関する検査(2項目) 1件 原湯、上がり用湯水質検査(6項目) 2件 浴槽水水質検査(4項目) 2件 合併処理浄化槽放流水水質検査(4項目) 1件	随契1号 （少額）

委　　託　　料　　に

整理番号	委託業務名	受 託 者	当　初 設計金額	契約金額			契　約 締結方法
				当初額	変　更 増減額	計	
8	空調・衛生等設備保守点検業務委託	日管株式会社	1,171,500	1,089,000	0	1,089,000	指名
9	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	有限会社 山口一級建築士事務所	99,000	99,000	0	99,000	随契
10	グリストラップ清掃業務委託	東名興産株式会社	115,500	115,500	0	115,500	随契
11	産業廃棄物収集･運搬及び処分業務委託	株式会社リサイクルクリーン	51,700	51,700	0	51,700	随契
12	調理（配膳）業務委託	株式会社 エムシーフードサービス	29,714,827	29,714,795	0	29,714,795	随契
	合　計	12件	39,365,237	39,023,985	0	39,023,985	

関　　す　　る　　調

（令和６年度）

契約期間	支　出 年月日	金　額	委 託 業 務 の 内 容	摘要
6. 4. 1 ～7. 3.31	6.11.29 6.11.29 7. 1.31 7. 4.21	347,600 75,900 317,900 347,600	給湯設備の保守点検 Ｎ：給湯用ボイラー 1基 点検回数：年1回 貯水槽の清掃 Ｎ：元水槽 25㎥、未処理受水槽 56㎥ 受水槽 36㎥、高架水槽 10㎥　（各1基） 清掃回数：年2回 ガスヒートポンプ設備等の保守点検 Ｎ：ガスヒートポンプ 4基 ｴﾝｼﾞﾝ系、冷却水系、燃料系・冷媒系、その他 点検回数：年1回	
	小計	1,089,000		
7. 1.15 ～7. 3.14	7. 3.21	99,000	建築基準法第12条に基づく定期点検(建築設備) Ａ：本館棟他の建築設備点検(2,794.80㎡)	随契1号 (少額)
7. 3. 4 ～7. 3.28	7. 4.25	115,500	グリストラップ清掃、収集・運搬及び処分（1回）	随契1号 (少額)
7. 3. 4 ～7. 3.28	7. 4.30	51,700	コンテナ3.5㎡、収集・運搬及び処分（1回）	随契1号 (少額)
6. 4. 1 ～7. 3.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.28 7. 3.31 7. 4.25	1,548,689 2,891,704 2,833,944 2,294,959 1,878,974 1,792,339 2,123,249 2,938,789 2,096,529 2,796,324 2,582,679 1,463,681	入所者に提供する給食業務 Ｎ：食堂の管理運営 1式 （入所者から徴収）	随契2号 (不適)
	小計	27,241,860		
		36,405,850		

委　　託　　料　　に

整理番号	委託業務名	受 託 者	当　初 設計金額	契約金額			契　約 締結方法
				当初額	変　更 増減額	計	
	（事務関係）		円	円	円	円	
1	警備業務委託	綜合警備保障 株式会社静岡支社	217,800	217,800	0	217,800	随契
2	庁舎清掃業務委託	東海ビル管理 株式会社	5,872,900	5,872,900	0	5,872,900	一般
3	自家用電気工作物 保安管理業務委託	有限会社 森下電気管理事務所	191,400	191,400	0	191,400	随契
4	消防用設備等 保守点検業務委託	東海消防技研 株式会社	882,750	660,000	0	660,000	随契
5	浄化槽保守点検 業務委託	東名興産株式会社	528,000	528,000	0	528,000	随契
6	防鼠防虫業務委託	株式会社マルマ	178,200	178,200	0	178,200	随契
7	水質検査業務委託	一般財団法人 静岡県生活科学検査 センター	684,420	643,940	▲ 8,140	635,800	随契

関　　す　　る　　調

（令和７年度）
（令和８年３月31日現在）

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
6. 4. 1 ～9. 3.31		円 (72,600)	所長室・事務室の夜間機械警備 Ａ：総延床面積 119㎡	R6長期 随契2号 （不適）
7. 4. 1 ～8. 3.31	7. 5.30 7. 6.26 7. 7.28 7. 8.26 7. 9.26 7.10.28 7.11.26 7.12.23 8. 1.29 8. 2.26 8. 3.26	438,900 438,900 488,400 438,900 438,900 946,000 438,900 438,900 488,400 438,900 438,900	庁舎の日常清掃及び定期清掃 Ａ：日常清掃(毎日) 1,816.3㎡ 日常清掃(週1回) 527.9㎡ 定期清掃(ｶﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ：年1回) 351.5㎡ 定期清掃(床面洗浄ﾜｯｸｽ:年1回) 1,810.1㎡ ゴミ処理(月1回) 雨樋清掃(年1回) 浴室清掃(年1回)	
	小計	5,434,000		
7. 4. 1 ～8. 3.31			電気工作物の保守点検 Ｎ：需要設備容量 125ｋVA　受電電圧 6,400V 非常用予備発電装置 20ｋVA	随契1号 （少額）
7. 4. 1 ～8. 3.31	7.10.31	404,800	消防設備の機能点検及び総合保守点検 Ｎ：自動火災報知設備、消火栓設備、消火器、非常放送設備、誘導灯設備、自家発電設備、防火戸シャッター連動装置、火災通報装置　1式 消防設備点検 点検回数：機器点検 年1回 総合点検 年1回 防火設備点検 点検回数：年1回	随契1号 （少額）
	小計	404,800		
7. 4. 1 ～8. 3.31	7.10.28	264,000	浄化槽維持管理及び放流水の水質検査 Ｎ：処理方式：合併処理槽 接触ばっ気(流量調整有) 容　　量：242人槽 1基 35t/日 点検回数：2週間に1回 年26回実施	随契1号 （少額）
	小計	264,000		
7. 4.15 ～8. 3.31			鼠・衛生害虫駆除 Ｎ：鼠・害虫駆除 業務回数：巡回点検・生息調査 年12回 害虫駆除(薬剤散布等) 年2回	随契1号 （少額）
7. 4.15 ～8. 3.31	7.10.24	133,320	飲料水等の水質検査 Ｎ：一般飲料水水質検査(11項目) 11件 一般飲料水水質検査(51項目) 1件 原水全項目水質検査(39項目) 1件 「食品の製造等に用いられる水の基準」に関する検査(2項目) 1件 原湯、上がり用湯水質検査(6項目) 2件 浴槽水水質検査(4項目) 2件 合併処理浄化槽放流水水質検査(4項目) 1件	随契1号 （少額）
	小計	133,320		

委　　託　　料　　に

整理番号	委託業務名	受 託 者	当　初 設計金額	契約金額			契　約 締結方法
				当初額	変　更 増減額	計	
8	空調・衛生等設備保守点検業務委託	日管株式会社	1,171,500	1,089,000	0	1,089,000	指名
9	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	株式会社河合晴夫一級建築士事務所	198,000	198,000	0	198,000	随契
10	グリストラップ清掃業務委託	東名興産株式会社	122,100	122,100	0	122,100	随契
11	調理（配膳）業務委託	株式会社 エムシーフードサービス	25,208,473	25,208,465	0	25,208,465	随契
	合　計	11件	35,255,543	34,909,805	▲ 8,140	34,901,665	

関　　す　　る　　調

（令和７年度）
（令和８年３月31日現在）

契約期間	支　出 年月日	金　額	委 託 業 務 の 内 容	摘要
7. 4. 1 ～8. 3.31	7. 9.12 7.11.21 8. 1.30	347,600 75,900 317,900	給湯設備の保守点検 Ｎ：給湯用ボイラー 1基 点検回数：年1回 貯水槽の清掃 Ｎ：元水槽 25㎥、未処理受水槽 56㎥ 受水槽 36㎥、高架水槽 10㎥　（各1基） 清掃回数：年2回 ガスヒートポンプ設備等の保守点検 Ｎ：ガスヒートポンプ 4基 ｴﾝｼﾞﾝ系、冷却水系、燃料系・冷媒系、その他 点検回数：年1回	
	小計	741,400		
7. 9.12 ～7.12.19	8. 1.29	198,000	建築基準法第12条に基づく定期点検(建築、建築設備) Ａ：本館棟他の建築設備点検(2,794.80㎡)	随契1号 （少額）
8. 3. 3 ～8. 3.31			グリストラップ清掃、収集・運搬及び処分（1回）	随契1号 （少額）
7. 4. 1 ～8. 3.31	7. 5.30 7. 6.26 7. 7.28 7. 8.26 7. 9.26 7.10.28 7.11.26 7.12.23 8. 1.29 8. 2.26 8. 3.26	1,164,108 2,320,718 2,561,133 2,048,338 1,803,743 1,543,273 2,116,883 2,083,053 1,227,853 1,260,258 1,499,468	入所者に提供する給食業務 Ｎ：食堂の管理運営 1式 （入所者から徴収）	随契2号 （不適）
	小計	19,628,828		
		26,804,348		

負 担 金 支 出 調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	特別教育講習会受講料(ﾁｪｰﾝｿｰ作業)	林材業労災防止協会静岡県支部	労働安全衛生法59条第３項及び労働安全衛生規則36条	チェーンソーを用いての業務に従事するため労働省令で定める特別教育の受講が必要	21,010	6. 5. 2
2	静岡県青少年教育施設協議会会費	静岡県青少年教育施設協議会	静岡県青少年教育施設協議会会則第９条	青少年教育施設の運営の研究等の向上を図ることに必要な事業	5,000	6. 6.26
3	東海北陸地区青少年教育施設協議会会費	東海北陸地区青少年教育施設協議会	東海北陸地区青少年教育施設協議会会則第10条	青少年教育施設の運営の研究・職員研修等の向上を図ることに必要な事業	5,000	6.10.29
4	静岡県青少年教育施設協議会研修会参加費	静岡県青少年教育施設協議会	参加費	加盟施設の運営に関する研修会	550	7. 1.29
計		４件			31,560	

負 担 金 支 出 調

（令和７年度）
（令和８年３月31日現在）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	静岡県青少年教育施設協議会会費	静岡県青少年教育施設協議会	静岡県青少年教育施設協議会会則第９条	青少年教育施設の運営の研究等の向上を図ることに必要な事業	5,000	7. 5.30
2	特別教育講習会受講料（小型ﾎﾞｲﾗｰ取扱）	日本ボイラ協会静岡支部	労働安全衛生法59条第３項及び労働安全衛生規則36条	小型ボイラーの取扱業務に従事するため労働省令で定める特別教育の受講が必要	20,460	7. 8. 5
3	東海北陸地区青少年教育施設協議会会費	東海北陸地区青少年教育施設協議会	東海北陸地区青少年教育施設協議会会則第10条	青少年教育施設の運営の研究・職員研修等の向上を図ることに必要な事業	5,000	7. 9. 8
4	野外活動指導者の為のツキノワグマ勉強会参加費	特定非営利活動法人ホールアース自然学校	参加費	ツキノワグマの生態と共存方法、安全管理の勉強会	500	8. 3.24
計		４件			30,960	

公 有 財 産 調

（令和６年度）

区　分	令和６年３月３１日現在		増		減		令和７年３月３１日現在		摘要
	数量又は面積	台　帳価　格	数量又は面積	台　帳価　格	数量又は面積	台　帳価　格	数量又は面積	台　帳価　格	
行政財産		千円 3,552		千円		千円 1,045		千円 2,507	
立木竹	本 8	170					本 8	170	
建　物	㎡ 2,243.96 3,051.38	0					㎡ 2,243.96 3,051.38	0	
工作物	個 48	3,382	3			1,045	個 51	2,337	
公有財産に準ずるもの		246						246	
電　話加入権	件 4	246					件 4	246	

公 有 財 産 調

（令和７年度）
（令和８年３月31日現在）

区　分	令和７年３月３１日現在		増		減		令和８年３月31日現在		摘要
	数量又は面積	台　帳 価　格	数量又は面積	台　帳 価　格	数量又は面積	台　帳 価　格	数量又は面積	台　帳 価　格	
行政財産		千円 2,507		千円		千円 277		千円 2,230	
立木竹	本 8	170					本 8	170	
建　物	㎡ 2,243.96 3,051.38	0					㎡ 2,243.96 3,051.38	0	
工作物	個 51	2,337				277	個 51	2,060	
公有財産に準ずるもの		246						246	
電　話 加入権	件 4	246					件 4	246	

借 地 借 家 等 調

（令和８年３月31日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	少年自然の家建物敷地	浜松市浜名区引佐町東久留女木字観音山	国有林157ロ林小班外	建物敷地	㎡ 8,920	円	円	自 6. 4. 1 至 9. 3.31	天竜森林管理署	建物敷地外
		堰堤及び水槽敷地		国有林151に林小班外	堰堤及び水槽敷地	163					
		導水管敷地		国有林153に林小班外	導水管敷地	717					
		導水管支え敷地		国有林153へ林小班外	導水管支え敷地	8					
		野外活動遊具場敷地		国有林156イ林小班	野外活動遊具場敷地	7,800					
		水槽敷地		国有林157ほ林小班	水槽敷地	185					
		管理路敷地		国有林157イ林小班	管理路敷地	221	―	663,500			
		園地敷地		国有林157イ林小班外	園地敷地	1,135					
		水道管敷地		国有林158ろ林小班	水道管敷地	23					
		管理道路敷地		国有林157ハ林小班	管理道路敷地	4,068					
		排水管敷地		国有林158ほ林小班	排水管敷地	57					
		椎茸原木置場敷地		国有林159ろ林小班	椎茸原木置場敷地	460					
	小計					23,757		663,500			
2	土地	公衆便所敷地	浜松市浜名区引佐町東久留女木100	国有林156い林小班外	公衆便所敷地	16	―	0	自 3. 4. 1 至 8. 3.31	天竜森林管理署	公衆便所敷地
	小計					16		0			
合計						23,773		663,500			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

（令和７年度）

（令和８年３月31日現在）

区　分	事業名又は契約名	内　　容	契約額	（契約額の年度別内訳）			
				令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
長期継続契　約	警備業務委託	所長室・事務室の夜間機械警備 （契約日） 令和６年４月１日	217,800		72,600	72,600	72,600
	複写機賃貸借	電子複写機の借り上げ （契約日） 令和５年４月１日	792,792	264,264	264,264	264,264	

備 品・図 書 調

(令和 6年度)

所属 0000211190 教育部　観音山少年自然の家

区 分	令和 6年3月31日現在	増		減		令和 7年3月31日現在
		数 量	購入価格(円)	数 量	売却価格(円)	
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-13 厨房器具類	16	(1) 1	0	(0) 0	0	17
01-14 冷暖房器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-17 洗濯機	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
02-01 情報処理機器類	5	(1) 1	0	(0) 0	0	6
02-02 情報伝達機器類	20	(0) 0	0	(0) 13	0	7
02-03 再生機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-99 その他の医療衛生機器類	2	(0) 1	199,100	(0) 0	0	3
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	3	(0) 0	0	(1) 1	0	2

ZMB0040
ZMRB0040

備 品・図 書 調

(令和 6年度)

所属 0000211190 教育部　観音山少年自然の家

区 分	令和 6年3月31日現在	増		減		令和 7年3月31日現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
10-07 音楽用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-99 その他の教育用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	78	(2) 3	199,100	(1) 14	0	67

ZMB0040
ZMRB0040

備 品・図 書 調

(令和 7年度)

所属 0000211190 教育部　観音山少年自然の家

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-10 印判類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-13 厨房器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
01-14 冷暖房器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-17 洗濯機	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
02-01 情報処理機器類	6	(3) 3	0	(0) 0	0	9
02-02 情報伝達機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
02-03 再生機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-99 その他の医療衛生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2

ZMB0040
ZMRB0040

備 品・図 書 調

(令和 7年度)

所属 0000211190 教育部　観音山少年自然の家

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
10-07 音楽用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-99 その他の教育用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	67	(3) 3	0	(0) 0	0	70

ZMB0040
ZMRB0040

主 要 備 品 調

（令和８年３月31日現在）

整理番号	区分 大・中	区分 小	品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
						円
1	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄機	毎日(年間200日) 食器洗浄用(厨房)	平成30年3月	4,320,000
2	1-13	調理器具	立体炊飯器 ｺﾒｯﾄｶﾄｳ CRA2-150N	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和3年3月	767,800
3	1-13	調理器具	ガスオーブンレンジ ｺﾒｯﾄｶﾄｳ XYS-1260A	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和5年1月	665,500
4	6-99	その他の諸機器	ウッドチッパー	月３回(年間33日) 歩道用チップ材	平成31年3月	565,000
5	1-99	その他の庁用器具	卓上丁合機 ﾃﾞｭﾌﾟﾛ DFC-100LⅡ	月５回(年間60日) しおり・資料作成用	令和4年2月	495,000
6	1-13	食品保存庫	食品保存庫	毎日(年間365日) 食品保存用(厨房)	平成22年3月	375,900
7	1-13	その他の厨房器具	ガスフライヤー 23L×２槽1050×600	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和元年11月	366,300
8	3- 3	映写機用器具	スプリング式スクリーン	毎日(年間200日) 食堂にて使用	平成31年3月	356,400
9	10-7	鍵盤楽器	ピアノ	(年間50回) 学校紹介等使用	昭和61年12月	344,000
10	1- 5	印刷機	印刷機 リソグラフ RZ67	(年間200日) しおり・資料作成用	平成20年1月	336,000
11	1-13	その他の厨房器具	配膳台	毎日(年間200日) 食事提供用(食堂)	平成2年7月	320,000
12	1-13	その他の厨房器具	配膳台	毎日(年間200日) 食事提供用(食堂)	平成2年7月	320,000
13	3- 3	その他の視覚用 再生用機器	プロジェクター ELMO EDP-2600	毎日(年間200日) 入所時使用	平成13年10月	312,900
14	2- 2	放送装置	放送装置	毎日(年間200日) 入所時等使用	平成元年9月	312,000
15	1-13	冷蔵（凍）庫	冷蔵（凍）庫	毎日(年間365日) 食品保存用 (ピロティー)	平成29年6月	297,000
16	1-13	冷蔵（凍）庫	冷蔵（凍）庫	毎日(年間365日) 食品保存用(厨房)	平成27年10月	297,000
17	3- 3	映写機用器具	手動スクリーン ｵｰｴｽ SMP-150VN-K3	毎日(年間200日) 入所時使用	令和3年3月	285,780
18	1-99	その他の庁用器具	その他の庁用器具 展示ボード	毎日(年間365日) 展示物掲示用	平成9年3月	275,628
19	1-13	調理器具	調理器具 立体炊飯器	毎日(年間200日) 食事提供用(厨房)	平成22年3月	264,600
20	4-99	その他の 医療衛生機器	自動体外式除細動器 日本光電 AED-3100	緊急時使用(玄関)	令和3年11月	264,000